

議会の手帖 203

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

2023.11.1



9月の定例議会 で犬山市の こんなことが決まりました。

9月定例議会

(25日間・9月1日～9月25日)は

- 市長提出議案……………20件
- 委員会提出意見書……………1件

が提出されました。

すべての議案名と結果は、
犬山市議会ホームページを
ご覧ください。

今号では
この中から
3つを選びました

Q テニスコートが完成した直後にも膨れや亀裂などの不具合があったが、今回も同じ状況か。

A 令和元年度に同様の隆起があった際は、地中内の水分が原因でした。今回は地中の気体により舗装が隆起していると考えられ、より通気性のある透水性舗装に修復するとともに、エア抜きができる管を埋設し、再発防止に努めます。



内田多目的広場
テニスコート

Pick up 2

内田多目的広場テニスコートの 補修工事を実施します。

【内容】
内田多目的広場テニスコートのAコート表面が隆起する盤膨れが発生し、プレーに支障が出ている状況であるため、補修工事を実施します。

第92号議案 令和5年度犬山市一般会計補正予算(第6号)

Q テニスコートの使用料収入を考えると、修理の費用対効果が疑問である。使用料の見直しの議論はなかったか。

A 使用料は、市の統一的なガイドラインに沿って算定しています。このガイドラインに基づき、令和6年度には使用料が1面2時間あたり350円となる予定です。

Pick up 1

当市初のZEB建築物となる 新子ども未来園を整備します。

【内容】
橋爪子ども未来園と五郎丸子子ども未来園の統合・移転に伴い、新たな子ども未来園をZEB建築物として整備します。

※ZEB・快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。

第92号議案 令和5年度犬山市一般会計補正予算(第6号)

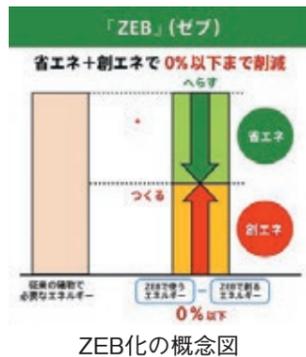
こんな質問が出ました。

Q ZEB化にかかる費用は、何年ほどで採算が取れると考えているか。

A ZEB化のために生じる市単独費は、光熱費の年間削減額等から試算し、約10年で回収できると考えます。加えて、ZEB導入により年間65・3トンの二酸化炭素排出削減効果があります。

Q その他の公共事業もZEB化を推進していくのか。

A ZEBや省エネ、自然エネルギーなど様々な選択肢から、施設ごとに効果的な導入方法を検討します。



Pick up 3

木曾川河畔活性化事業を 実施します。

【内容】
木曾川河川空間の整備のため、地域住民との対話の場づくりや実証実験、かわまちづくり計画策定に向けた基礎調査等を継続して実施します。

第92号議案 令和5年度犬山市一般会計補正予算(第6号)

こんな質問が出ました。

Q 昨年度に実施した実証実験の反省点を踏まえた、継続的な事業という認識でよいか。

A 昨年度の実証実験では、夕方以降の明るさが課題となったため、今回は前回より広い範囲で、長時間明かりをとす実験を想定していますが、最終的には地域の方との意見交換を行い、実証内容を決定します。



木曾川河畔空間の
整備イメージ

Q かわまちづくり協議会設立に向けた、予算はかかるのか。

A 本事業は、国土交通省による「先導的グリーンインフラ形成支援事業」として、全国3事例のうちの1つに採択されました。そのため、国からコンサルタントや専門家の派遣を無料で受けることができます。

討論

犬山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について (第84号議案)	反対	小川隆広議員	新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行したが、作業にあたる救急隊員の危険度や負担が軽減したとは考えにくい。防疫手当の特例は市独自でも継続すべき。
	賛成	増田修治議員	新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことで、コロナ禍の頃に感染対策を行う方々も減少し、世間一般でも防疫対策を講じる情勢ではなくなっている。

請願及び意見書

請願第3号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書
意見書案第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書



意見書はこちら



請願はこちら



全ての議案の賛否はこちら

9月定例議会では、20件の提出議案のうち第84号議案は賛成多数で可決、その他は全員一致で可決（決算は認定）しました。第84号議案に対する討論の内容は左記のとおりです。また、左記の請願を採択、意見書を可決しました。

議会の主な議案等にチェック
提出議案に賛成・反対しました

令和5年9月定例議会 議案の賛否（全員一致以外）

○：賛成 ×：反対 議：議長 除：除斥 退：退席 欠：欠席

議案番号	件名	議決結果	日本共産党 犬山市議団	公明 クラブ	創犬会					清風会										
			小川隆広	岡 覚	岡村千里	島田亜紀	諏訪 毅	増田修治	光清 毅	小川清美	畑 竜介	玉置幸哉	柴田浩行	大沢秀教	鈴木伸太郎	沼 靖子	久世高裕	柴山一生	丸山幸治	ビアンキ恵子
第84号議案	犬山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

総務委員会

- フロイデはじめ公共施設の施設管理については、建築年数や建物の特性を加味し、計画的に点検を実施するよう求める。
- ふるさと納税については、レギュレーション等の変更に伴い、新たな切り口で財源確保に努めること。



令和4年度決算審査を踏まえた、各常任委員会からの令和6年度予算に向けた意見集約

決算審査の過程での指摘事項が今後の事業のさらなる改善や見直しにつながるよう、各常任委員会で討議を行い、意見を集約しました。

建設経済委員会

- 木曾川河川空間活性化事業について、計画に沿って適正に進めること。
- 水道事業について、現在の料金体系や健全財政を維持するため、老朽化対策や自己水の確保に努めること。
- 除草作業にかかる予算について、市民のニーズに応えられるよう適正に確保していくこと。



民生文教委員会

- 学校給食費の無償化について、市の財政状況を見据えた上で、少しずつでも進展するよう努力すること。
- 社会福祉協議会について、当該団体が自ら進めている組織改革と併行して、市からの補助金や委託金について検証を行い、乖離があれば是正すること。
- 公共建築物（民生文教委員会所管外を含む）及び付属設備等の管理について、予防保全に努めるとともに、計画的な修繕を推進すること。
- 高齢者タクシー料金助成制度について、現在は85歳以上の市民が対象となっているが、その年齢未満であっても運転免許証を自主返納した者を対象に加えるなど拡充を図ること。

一般質問

市民

**情報伝達について
どうなる防災行政無線**



創犬会
小川 清美

Q 国が、災害情報などを住民に伝える防災行政無線の設置を2025年度までに求めていることに関連し、未整備の自治体を公表した記事が6月の中日新聞に掲載された。全国1,672自治体のうち69市町村が未整備で、当市がこれに含まれている。過去の一般質問にて、FMラジオの活用を提案させていただいたが、改めてこの記事に関する市の考え方を尋ねる。

A 整備状況調査の対象となる防災行政無線等とは、屋外スピーカーやFM放送を活用して市民へ伝えるシステムやケーブルテレビ等を活用したシステムのうち、プッシュ型で通知が可能な9つの手段を指しますが、あんしんメールなど当市が行っている

複数の手段はこれらに含まれないため未整備扱いです。これまで、栗栖・今井・池野などの山間部ではFMラジオの繋がりが悪く、導入には多額の費用が生じる課題がありました。7月に最新の機材を用いて栗栖、今井、池野などの山間地域を調査した結果、全ての地域で良好につながることが確認できました。このため、現在、コミュニティFM電波を活用した防災ラジオ導入の検討に着手しており、令和6年度の実施に向け進めています。



健康 福祉

市民健康館さら・さくら今後の経営方針について



ピアソキ
恵子

Q 犬山市民健康館さら・さくらは21世紀型の健康福祉施設を目指し平成13年6月にオープンした。経営状態の悪化から令和4年4月から温泉水廃止と決まり、現在は水道水となっている。お隣の可児市にある湯の華アイランドは企業努力で設備を増やし、集客力を高め、コロナを乗り越えて現在がある。自分たちの会社と考えれば何かアイデアを出して活性化を図っているはずである。例えばドッグランを作るとか、さら・さくらへの直通バスを出すとか、アイデアは考えられるが、経営悪化がさらに進んでいる現在、今後の経営方針についてどのように考えているか。

A 維持経費の削減は適宜行ってまいります。この施設も建設から20年以上が経過し、多額の経費を必要とする大規模改修も検討の必要がある時期となっており、施設の将来的な活用方針等を念頭に、まずは担当レベルで素案の検討を行っているところです。今回の議員からのご提案も参考に、今後の施設の活用方針等の検討を進めていきたいと考えています。



経済環境 健康福祉

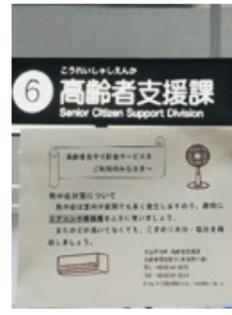
熱中症対策について



公明
クラブ
鳥田 亜紀

Q 全国における熱中症による救急搬送は3万6千549人であった。65歳以上の方、住居内で最も多くなっている。また光熱費が高くなり市民の皆さんが大変困っている。誰でも暑さを避けるための避難場所「クーリングシェルター」として公共施設を開放することを提案する。

A 近年、熱中症による死亡者数・緊急搬送者数が増加傾向にあり、市としてもクーリングシェルターの要件などを整理しながら、市民のだけれども気軽に立ち寄りやすい場所として公共施設をクーリングシェルターとして開放していくよう検討をはじめしているところです。



整備 都市

今後の水道料金について



創犬会
光清 毅

Q 犬山市の水道料金は、県下でも安い方であると認識しているが、その理由はなぜか。

A 犬山市の水道料金は一般的な家庭での使用量において、昨年4月現在、県内で一番安くなっています。その理由は、①自己水源が確保されていること②水道水を多く使用する企業があること③家事用水道料金を他の用途よりも安価に設定していることです。

Q 愛知県から水道水を購入する経費が、約4億4千万円で、今後は水道水の仕入れコストや電気料金の上昇が懸念される。さらに、水道管や施設の更新の費用も引き続き必要であるが、今後の、水道料金についてどのように



A 考えているのか。今後の水道料金の考え方については、今後見込まれる減収はわずかであること、当市の水道事業が経営的に無借金であること、加えて積立金を保有していることや内部留保資金を有すること等から、現在のところ料金改定は必要ないと考えます。また、県営水道の値上げに対して、愛知県市長会から愛知県へ緊急の要望書を提出することになりました。

一般質問

経営

旅先納税について



創犬会 煙 竜介

Q 旅先納税は旅の前ではなく、旅行・出張など旅先の市町で寄附できるもので、旅の途中で寄附すると、その場でデジタルクーポンがもらえ、その場で使える仕組みである。旅行中の消費拡大が見込まれるため、来犬される方、市内の協力業者、犬山市にとって三方よしとなるのではないかと考える。また、デジタルクーポンのため、記念品発送の経費などは抑制できると考えられるほか、一度、仕組みを構築すれば、他の施策にも展開することが可能と考えるが、市としての考えはどうか。

A ふるさと納税制度の厳格化という厳しい環境の中で、単に記念品を開拓していくだけでなく、体験型ふるさと納税など現地

型の新しい形の方式を充実させ、犬山市のファンを増やしていこうという市の考え方と、この旅先納税は目指す方向性が同じであると思っています。そのため、旅先納税の導入については、同様のサービスを提供する事業者が複数ありますので、その内容やコスト面などを比較し、より市にとってメリットがある提案かを精査した上で導入に向けて検討をしていきます。



環境

災害情報が出ているときの行政サービスの基準が設けられないか



日本共産党 犬山市議団 小川 隆広

Q 台風7号接近時のごみ収集では賛否様々な市民の声があった。台風接近時のごみ回収について安全確保の観点から実施の可否を決定する基準が設けられないか。

A 犬山市では、現在、ごみ収集実施の可否の一律の基準を持っておりません。収集するごみには大きく、可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、粗大ごみの4種類がありますが、8月15日の台風接近時には、個別に実施可否を検討した上で、4種類全てのごみ収集を実施することとしたところです。その後、市長より、ごみ収集等実施可否の基準を設けるよう指示を受け、既に検討をはじめたところです。ごみの収集方法は自治体によって異なっていることから、市民やごみ収集に



市民 都市整備

犬山市南部のまちづくりについて



創犬会 幸哉 玉置

Q 富岡荒井線開通後に高根洞工業団地から山ノ田腰に出てくる道路の交通量を私も調査したが、朝夕の通勤時に110台、120台ほど抜け道として通行するダンブや自動車がある。山ノ田腰の町内会から危険を感じると相談があったので流入を防ぐ手立てはないか。

A 既に通り抜けを遠慮してもらおう啓発看板を工業団地内の2か所に設置していますが、今後、地元と調整して集落付近への啓発看板の追加設置などを検討します。



A 羽黒地域のまちづくりの方針では犬山富士線と蟬屋長塚線の整備を掲げ、これらを通じて羽黒の東西の交通円滑化を図り、地域のポテンシャルを高めることで市街地における商業など都市機能の向上を促します。蟬屋長塚線沿線の一部において新市街地検討エリアを設定し、住宅や一定規模の商業施設などの立地を可能とする市街化区域への編入を検討する方針として

市民

ペット同室避難について



公明クラブ 諷訪 毅

Q 犬山市で導入されている災害時のペットとの同行避難・同室避難について伺う。

A 犬山市では、災害時に開設する全ての避難所において、ペットを連れた同行避難が可能ですが、避難所の室内には避難者のみでペットが入ることはできません。一方、同室避難では、避難所の室内でペットと一緒に過ごすことができます。犬山市では、昨年12月から市民交流センターフロイデ、勤労青少年ホーム、楽田ふれあいセンターの3カ所を、ペットと同室避難が可能な避難所に位置づけ、運用を開始しました。ペット同室避難の今後の取組について伺う。

A 避難所開設の際、人手を必要とすることから、担

当職員を2名から3名に増員しました。また、避難所の受付時に、ペットのワクチン接種の状況等の把握のため、受付票を記入してもらいますが、受付時の混雑を少しでも緩和できるように、ペットの受付票を市ホームページに掲載し、事前に記入することができるようになりました。そして、令和6年1月22日にペット同室避難の避難所開設訓練を市民交流センターフロイデにおいて実施する予定です。



一般質問



「八幡林古戦場」を守り、羽黒のまちづくりに活かさないか



清風会 沼 靖子

Q 大河ドラマ「どうする家康」でも忠実な描写があった八幡林古戦場だが、この機会をチャンスと捉え、まちづくりに活かしていくことは考えているか。

A 令和5年7月に国の認定を受けた犬山市文化財保存活用地域計画では、八幡林古戦場を「美濃と尾張の国境に残る群雄割拠の痕跡」という関連文化財群の構成要素の1つとして位置づけられており、黒城跡や楽田城跡、野呂塚などの合戦に関連する歴史文化資源と合わせて、群として保存・活用を図ることとしています。

Q 改めて、市長のビジョン、考えを知りたい。

A 犬山の歴史のいいところは、「犬山に、羽黒に、楽田に直接訪れて自分の目で確かめられるところ」。



Q 大河ドラマを通してつながった、犬山城、城下町から羽黒、楽田を周遊してもらえらまちづくりを進めたいと考えています。八幡林古戦場を保存し、市の文化財に指定することはできないか。

A 発掘調査による範囲の特定や価値を明らかにすることも困難な状況であり、現状では、市の指定文化財にすることはできない状況です。しかし、八幡林古戦場が地域の歴史文化を語るうえで、重要な歴史文化資源であるとの認識は変わりません。



石上げ祭について



創犬会 増田 修治

Q 石上げ祭が、今年度より愛知県無形民俗文化財に指定をされた。この指定を機に今後、どのような保護事業をしていくのか伺う。

A 今後とも、石上げ祭伝承保存会への支援を通して祭りの保護を推進してまいります。県指定により、石上げ祭が改めて評価された今、祭りへの参加者を増やす支援の一環として、従来行っている市役所ロビーでの献石用具の展示応援や、市ホームページでの紹介に加え、情報発信と普及啓発により一層力を入れ、祭りの魅力を伝える場を増やしてまいります。

Q 石上げ祭を文化財として保存していくためには、献石数を絶やさないと



A 石上げ祭において、有志による献石の数を維持、増やしていくことは、祭りの伝承の根幹です。保存会の熱心な働きかけにより、献石数はコロナ禍から回復しつつありますが、市としてもホームページや広報など各種メディアによる献石の募集支援、ポスターやチラシの各所への設置などにより、新規の献石数の増加に繋がる支援をしてまいります。



屋内型キッズスペースの早期実現について



創犬会 大沢 秀教

Q 屋内型キッズスペースの実現に向けて、市で実施したアンケートの結果について、どう分析しているのか。今後の展開をどう考えているのか。

A 6〜7月に実施したアンケートの結果、約8割が「屋内型キッズスペースを利用したことがある」と答えた、7割強が「有料施設ができれば利用する」と回答し、子育て世帯の利用ニーズは高いと考えます。アンケート結果を踏まえ、候補地を選定していきます。

Q 交通アクセスが便利な場所に、なるべく整備費をかけずに早期実現するために、民間事業者であるが、ヨシヅヤに協力をお願いして候補地としての検討を進めてはどうか。



A 民間施設のヨシヅヤにも、候補地として協力を得られるか確認していきます。アンケートにも、市民ニーズは示されており、市のメリットもあると考えます。ただ、候補地の決定は、道の駅をはじめとする今後の犬山市のまちづくりの方向性にも大きく影響することから、それらを踏まえて判断をしていきます。



民生委員の高齢者実態調査について



丸山 幸治

Q 調査の目的は何か。

A 高齢者と民生委員の接点を生む機会となるほか、調査結果は民生委員の活動の基礎資料となります。

Q 苦労して集めた調査結果はどう活かしているか。

A 市と民生委員の高齢者の平時の見守りや、緊急時の迅速な支援を行う際の基礎資料となっています。

Q なかなか会えない人や意思疎通が難しい方への調査について、市はどうサポートしているか。

A 可能な範囲で調査して頂くよう伝えています。調査が困難な場合には後日市や高齢者あんしん相談センターが民生委員に代わって調査することもあります。

Q 2月は寒く期間が短いとの声を聞くが、調査の時



A 期と期間を見直せないか。民生委員との協議を行いながら、ご指摘の調査時期を含め、必要に応じた見直しを進めてまいります。

Q 調査委託料1件百円について増額はできないか。

A 他の事業とのバランスや調査の手間などを考慮して、先ほどの見直しと合わせ検討させていただきます。

Q 観光戦略会議の中で「観光税を導入してはどうか」という提言があった。具体的には民間のコインパーキングなどに追加料金を課す「駐車場税」という提言だったが、これを導入することで財源確保だけでなく古民家が解体されて駐車場になってしまうのを抑制し、電車で来てほしいという政策誘導にもなる。検討してみてはどうか。

A 現在、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことなどから、多くの観光客が訪れていますが、それによる交通渋滞や混雑も発生するなど、地域住民の生活への影響が顕在化しています。そうした中、城下町地区では近年民間のコインパーキングが作られる事例が多く見られ、景観保全の観点から課題も生じつつあ



ると認識しています。駐車場税について、他の自治体の事例では民間のコインパーキングを利用する観光客などの車に対し、1回あたりの利用料金に乗せざる形で徴収するものなどがあり、本市でも有効な取り組みになる可能性があります。導入にあたっては、徴収の方法などの仕組みづくりや関係者への周知と理解など、検討すべき事項も多くありますが、今後、関係機関と調整の上、導入の可能性について研究を始めてまいります。

Q 観光戦略会議の中で「観光税を導入してはどうか」という提言があった。具体的には民間のコインパーキングなどに追加料金を課す「駐車場税」という提言だったが、これを導入することで財源確保だけでなく古民家が解体されて駐車場になってしまうのを抑制し、電車で来てほしいという政策誘導にもなる。検討してみてはどうか。

A 現在、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことなどから、多くの観光客が訪れていますが、それによる交通渋滞や混雑も発生するなど、地域住民の生活への影響が顕在化しています。そうした中、城下町地区では近年民間のコインパーキングが作られる事例が多く見られ、景観保全の観点から課題も生じつつあ



Q 外国籍高齢者の介護・年金・保険等、案内書の多言語化をすすめるべきではないか。

A 介護・福祉サービスについては、高齢者あんしん相談センターで5言語の案内チラシ・申請書記入例などを用意しています。市役所でも通訳を配置するなどしていますが、今後対応の強化も必要と思われるかもしれません。年金制度は14カ国語の説明書を使用しています。

Q 言葉の壁・女性医師を求める女性患者の声を考慮して、近隣市町で情報共有し、多様なニーズに対応すべきではないか。

A 外国人は、それぞれのコミュニティを持ち、ここで情報が共有されていると思われ、現在問い合わせの記録はありません。

教育

犬山市福祉会館跡地は今後どうなるのか



日本共産党 犬山市議団 岡村 千里

Q 2020年度に解体された犬山市福祉会館の跡地は、江戸時代には大手門や堀などがあり、犬山町時代には町役場が置かれるなど重要な場所である。これまでは、跡地について犬山城のガイダンス及び地域住民が活用できる施設を整備する方針を示してきたが、施設が建てられない可能性が出てきたとのこと。その経緯を示してほしい。

A 福祉会館の解体後、発掘調査し、史跡追加指定範囲の検討を進めました。今年5月に文化庁と協議し「史跡のガイダンス施設は原則として史跡指定地内での建設は認められない」と確認しました。現時点で跡地利用の方針が決定したのではなく、委員会での審議や文化庁



Q 多くの市民が跡地がどうなっていくか関心があり、便益施設を待ち望んでいる。跡地に建物ができないという場合、それに代わる施設の利用や施設の整備が必要ではないか。

A 地域の集会機能の必要性は十分認識しておりますので、史跡追加指定に関する方針決定を待つことなく、並行して既存施設の改修をはじめ、代替案の検討を既に進めています。

教育

あいち県民の日について



清風会 柴山 一生

Q 県民の日の創設については、愛知県議会の議事録によると、昭和61年の9月定例会で初めて質問され、令和5年11月27日をあいち県民の日とする条例が制定された。しかしながら、市民の議論もなく、上意下達で、国や県の施的な施策は今後あまり受け入れるべきではないと考えている。市として、この愛知県のイベントをどのような考え、そして体制で受け入れるのか。①なぜ休日を設けるのか。②保護者の負担はどうなるのか。③親子で休みを過ごせない多くの子どもたちが集まるであろう場所である児童センターは受け入れ態勢ができていないのか。④県は今回の事業に市が関わることで発生する費用を負担するのか。



A ①県民の日学校ホリデーについては県の方針を受け、子どもが家族と一緒に体験的な学習活動に参加できる機会として、校長会で協議し、定例教育委員会を経て決定しました。②あらかじめ周知してありますので、それほど負担はないと考えます。③児童センターは十分対応可能です。④今回市が行う施設の使用料などの無料や割引に伴う市の減収分は、県の補てんはありません。

経済 環境

観光税の導入で活性化と住民生活の両立を！



清風会 高裕 久世

教育 健康福祉

どうする？外国人と日本人互いにハッピーな共生



清風会 鈴木伸太郎

Q 観光戦略会議の中で「観光税を導入してはどうか」という提言があった。具体的には民間のコインパーキングなどに追加料金を課す「駐車場税」という提言だったが、これを導入することで財源確保だけでなく古民家が解体されて駐車場になってしまうのを抑制し、電車で来てほしいという政策誘導にもなる。検討してみてはどうか。

A 現在、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことなどから、多くの観光客が訪れていますが、それによる交通渋滞や混雑も発生するなど、地域住民の生活への影響が顕在化しています。そうした中、城下町地区では近年民間のコインパーキングが作られる事例が多く見られ、景観保全の観点から課題も生じつつあ

Q 外国籍高齢者の介護・年金・保険等、案内書の多言語化をすすめるべきではないか。

A 介護・福祉サービスについては、高齢者あんしん相談センターで5言語の案内チラシ・申請書記入例などを用意しています。市役所でも通訳を配置するなどしていますが、今後対応の強化も必要と思われるかもしれません。年金制度は14カ国語の説明書を使用しています。

Q 言葉の壁・女性医師を求める女性患者の声を考慮して、近隣市町で情報共有し、多様なニーズに対応すべきではないか。

A 外国人は、それぞれのコミュニティを持ち、ここで情報が共有されていると思われ、現在問い合わせの記録はありません。

夏休み親子議場見学会を開催しました

来年も
お待ちしております♪



クイズラリー表彰式



令和5年7月22日
犬山市議会主催、「夏休み親子議場見学会」を開催しました。
今年度で6回目となる見学会には、小学生とその保護者21組が参加しました。議員が手作りした説明動画を視聴して議会の仕組みなどを学んだ後、議場のある市役所6階を見学しました。その後、議場にて子どもが議員へさまざまな質問をしました。



議員への質問

「議会ではどんなことをしているのですか」「議場の席はどのように決めていますか、席替えはありますか」などの質問に、議員が答えました。
最後に議会に関するクイズラリーを開催し、女性議員の数や、今年の4月から議員になった新人議員の数などの問題に答え、優勝者は議長から表彰を受けました。

参加者の声



議員さんの活動を知る良い機会になりました。説明も分かりやすかったです。

小学生のうちに市政に興味を持つことができるととてもいい機会でした。

学校の授業の中で市議会のことを勉強できる機会があれば子供たちももっと選挙に興味が増えるのではないかと思います。

普段見る事ができない所に入らせてもらえて良かったです。

一般質問

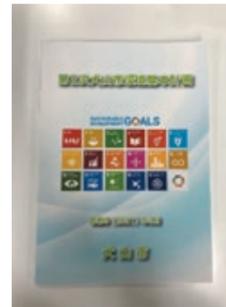
教育

これからの子ども未来園（保育園）設計基本



日本共産党
犬山市議員
岡 寛

Q 橋爪・五郎丸の合併する園についてはZEB（消費するエネルギー収支をゼロにする）化が計画されているが、①その理由②そのコストアップは、また、③次の羽黒・羽黒北の合併する園はどうか。
A ①第2次犬山市環境基本計画（2021年策定）において、省エネルギー推進、再生可能エネルギー導入促進のため、建物の新設や建替えの際にはZEB建築や省エネルギーになるように努めるとしているからです。②全体建築工事費のうち約12%相当額となります。③民間事業者による新羽黒保育園は、ZEB建築の仕様ではありません。私はZEB化はコストアップとしても、未来への投資として受け入



れるべきかと思っている。新羽黒保育園がZEB化されないということ、①地域間格差が生まれるが、行政の取り組みとしてどうなのか。②民間の取り組みであっても環境基本計画は踏まえるべきではないか。
A ①保育の質や内容に違いは生まれませんが、住民感情に寄り添い、丁寧に説明を重ね、理解いただけるよう努力します。②環境に配慮した園舎を基本に、事業者とも犬山市の目標達成に向けて取り組んでいきます。

議会の手帖

WEBアンケート ご協力をお願い

皆さんの声をお聞かせください！

回答受付期間
11月1日（水）
～
11月30日（木）

犬山市議会広報委員会では、「議会の手帖」をよりよい紙面にするために、アンケートを実施いたします。ぜひご協力をお願いします。

【ご回答にあたって】
・アンケートにかかる時間は1分程度です。
・アンケートへの回答はお一人につき1回でお願いします。

【アンケート回答方法】
左記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。



犬山市議会Presents

「市民との意見交換会」

令和6年1月28日(日) 犬山市南部公民館

入場
無料

予約
不要

【記念講演会】南部公民館 講堂

第一部 13:00-14:30

いつか来る!!
南海トラフ地震に備えて

講師 名古屋大学名誉教授
福和 伸夫氏



第二部 14:45-15:45

議員とテーマセッション



分科会①

テーマ

これからの町内会
私の役割

担当：総務委員会

分科会②

テーマ

心の健康に
ついて考えよう!

担当：民生文教委員会

分科会③

テーマ

みんなで話そう
みんなの公園

担当：建設経済委員会

* 分科会の各最大収容人数は、30人程度となりますので、ご了承下さい。

次回 11 月定例議会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
			再開			
3	4	5	6	7	8	9
			一般質問			
10	11	12	13	14	15	16
	議案質疑		全員協議会	委員会		
17	18	19	20	21	22	23
	委員会		最終日			
24	25	26	27	28	29	30

11月定例議会で審議・審査する請願・陳情の受理は11月21日(火)正午までです。

今号の表紙

立藤絆吏様の「犬山モンキーセンターにいるお猿さんたち」を使用させていただきました。ありがとうございました。
【コメント】「遠足の楽しかった思い出を描きました。モンキーセンターのお猿の魅力が伝わったらいいなと思います。」

編集後記

市議会広報委員会

増田 修治

市議会広報委員会では、市議会で行われていることを、分かりやすくお伝えする為に、紙面の見やすさなど日々研究し、編集に努めております。SNSを始め、様々な広報媒体が日進月歩の勢いで変遷しております。私共も乗り遅れることのなき様、最新のツールも用いながら情報発信して参りますので、今後ともお目通し頂ければ幸いです。

- 委員長 畑竜介
- 副委員長 玉置幸哉
- 委員 増田修治・小川隆広
- 島田亜紀・沼靖子